学校番号	412

令和８年度　数学科

教科	数学	科目	数学演習ＩA	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書	なし						
副教材等	ニューステージ数学演習Ⅰ・A＋Ⅱ・B・C						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・授業には各回で扱う単元の基礎知識を事前に復習し，理解してから臨むようにしましょう。
　特に，各単元の CHECK 問題や STEP 問題は何も見ずに自力で解いておいてください。
・授業中は板書を書き写すだけではなく，授業のポイントや自分が気付いたことをノートの枠外にメモをとる習慣を身につけてください。
・授業を受けた後は授業内で得た知識を定着できるよう意識して復習しましょう。
　授業内容等でわからないところがあれば，気軽に質問に来てください。

2　学習の到達目標

【知識及び技能】
数学Ⅰ・数学 A 全般の基礎知識を身につけ，それらを用いた計算を正確に行うことができる。
【思考力、判断力、表現力等】
客観方式の問題に慣れ，問題に対してどの基礎知識を用いるのかを判断できる能力を養う。
【学びに向かう力、人間性等】
問題を解けるだけではなく，問題を解く過程において数学のよさを認識し、数学的論拠まで理解できるようになる。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	・具体的な問題演習を通して各単元の概念や原理・法則を体系的に理解している。 ・事象を数学的に解釈したり，数学的に表現・処理したりすることに関する技能を身につけている。	・日常の事象や社会の事象を数式や表・グラフを用いて数学的に表現することができる。 ・問題文を読解し、事象を数学的に考察したり，問題解決のためにどの基礎知識が適切であるかを判断したりすることができる。	・数学のよさを認識し数学を活用しようとしている。 ・粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとしている。 ・問題解決の過程を振り返って考察を深めたり，評価・改善したりしようとしている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1学期	数と式	1. 単元の基礎知識確認 2. 共通テスト対策 問題演習	a:２次の乗法公式及び因数分解の公式をより深く理解し，それらを用いて，基本的な計算をすることができる。 b:特定の文字に着目したり，１つの文字に置き換えたりするなど式を多面的に捉える方法や，複雑な式を目的に応じて適切に変形することで式を簡略化する方法を考察することができる。 c:式の変形・整理において，それらの工夫の仕方に関心をもち，よりよい方法を考察しようとしている。	定期考査 小テスト	定期考査 提出課題 発問評価	提出課題 発問評価 授業態度
	集合と論証	1. 単元の基礎知識確認 2. 共通テスト対策 問題演習	a:命題や条件に関する基本的な概念を理解している。また，命題の逆・裏・対偶の真偽を，もとの命題の真偽と関連付けて調べることができる。 b:命題の条件や結論に着目し，命題に応じて対偶を用いた証明法や背理法の利用を適切に判断することで,命題を証明することができる。 c:直接証明することが難しい命題も，対偶を利用した証明法や背理法を用いると容易に証明できることのよさを認識し，実際にそれらを用いて証明しようとしている。	定期考査 小テスト	定期考査 提出課題 発問評価	提出課題 発問評価 授業態度

	2次関数	1. 単元の基礎知識確認 2. 共通テスト対策 問題演習	a:２次関数について，特徴を理解し，実際にグラフを描いたり式変形をしたりできる。 b:２次関数の特徴について，表，式，グラフを相互に関連付けて多面的に考察できる。 c:グラフの平行移動や対称移動に関心をもち，２次関数の性質について考察しようとする。	定期考査 小テスト	定期考査 提出課題 発問評価	提出課題 発問評価 授業態度
	図形と計量	1. 単元の基礎知識確認 2. 共通テスト対策 問題演習	a:三角比の意味を理解し，三角比の性質を利用して求めたい値を求めることができる。 b:三角形の相似の考え方や三平方の定理に関連付けて三角比の性質を考察できる。 c:三角比について学んだことを，測量など日常の事象の問題解決に生かそうとしている。	定期考査 小テスト	定期考査 提出課題 発問評価	提出課題 発問評価 授業態度
	データの分析	1. 単元の基礎知識確認 2. 共通テスト対策 問題演習	a:データにおける統計値の定義やその意味を理解し，それらを求めることができる。 b:最大値や最小値，四分位数をヒストグラムや箱ひげ図などと関連付けてデータの特性や傾向を考察することができる。 c:データの代表値に関心をもち，目的に応じた適切な手法を選択してデータを分析しようとしている。	定期考査 小テスト	定期考査 提出課題 発問評価	提出課題 発問評価 授業態度
	場合の数と確率	1. 単元の基礎知識確認 2. 共通テスト対策 問題演習	a:具体的な事象を基に場合の数や確率の意味を理解し，その総数を求めることができる。 b:組合せを求める方法を多面的に考察することができる。 c:場合の数・確率の考えを用いて考察するよさを認識し，問題解決に利用しようとする。	定期考査 小テスト	定期考査 提出課題 発問評価	提出課題 発問評価 授業態度
2学期	図形の性質	1. 単元の基礎知識確認 2. 共通テスト対策 問題演習	a:図形の性質を理解している。 b:図形の性質を用いて与えられた図形について考察することができる。 c:図形の性質を考察しようとする。	定期考査 小テスト	定期考査 提出課題 発問評価	提出課題 発問評価 授業態度

	総まとめ	共通テスト形式の 総合問題演習	a:基礎知識を用いた計算を正確に行うことができる。 b: 問題文の意味を理解し、どの単元の問題であるか考えることができる。 c:粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとしている。	小テスト	小テスト 提出課題 発問評価	提出課題 発問評価 授業態度
3学期	総まとめ	共通テスト形式の 総合問題演習	a:基礎知識を用いた計算を正確に行うことができる。 b: 問題文の意味を理解し、どの単元の問題であるか考えることができる。 c:粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとしている。	小テスト	小テスト 提出課題 発問評価	提出課題 発問評価 授業態度

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度